

**用途** 混入した鉄製の針、釘、折損片などの探知

1. 縫製品（きもの、婦人子供服、紳士服、ベビー服、毛皮製品など）に混入した針、折針鉄片の探知、検針。
2. ハンガーにかけたまま検針、検査したい場合。
3. 積み上げたものの間や、袋物の中に差し込んで検針・検査したい場合。
4. ナイフ、ピストルなどの凶器探知用として保安関係者に。
5. 木材、壁材などの中の釘、鉄片の探知。
6. 食品、医薬品、バック商品などに混入した針、釘、ホチキス、鉄片の探知。

**特長**

1. スティック……………▶手のとどかない場所や、離れた場所に便利なスティックタイプ  
型センサ  
▶手の入らないせまい場所にも挿入できる細いセンサ頭部。  
(2.5 cm × 2.5 cm)  
▶広い範囲を能率よく検査・検針できる広い検知幅。  
(2.5 cm × 11.5 cm)
2. 高 感 度……………小型でも高感度、至近距離では小さな針※も探知可能です。
3. 簡 単 操 作……………電源スイッチをON、あとは検針・検査したい物の上でセンサを動かすだけ。誰にでも簡単に使えます。
4. スピーカー……………針・鉄片を探知したときは、本体の内蔵スピーカーとランプ  
内蔵 (LED) で知らせます。
5. 電池 電 源……………電源は単3乾電池2本。お近くのスーパー、電気店でおもてに  
なれます。  
(※ 仕様を参照)

**仕 様**

1. 名 称 型 式……………鉄片探知器（検針器）TY-20S型
2. 探 知 方 式……………永久磁石磁気誘導方式
3. 探 知 感 度……………鉄製の虫ピン（φ0.7×L27 mm）探知面から 最高3 cm
4. 探 知 部……………2.5 × 11.5 (cm)
5. 電 源……………単3乾電池（1.5V）× 2本
6. 寸 法 ・ 重 量……………（本 体）13 × 6 × 3.5 (cm) , 170g（電池を含む）  
（センサ）2.5 × 2.5 × 50 (cm) , 320g

**営 業 品 目**

膜厚計、ピンホール探知器  
結露計、粘度計、水分計  
検針器、鉄片探知器

代理店・特約店

株式会社 **サンコウ電子研究所**

東京営業所 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-4 柴田ビル2階  
TEL(03)3254-5031 FAX(03)3254-5038  
大阪営業所 〒530-0046 大阪市北区菅原町2-3 小西ビル  
TEL(06)6362-7805 FAX(06)6365-7381  
名古屋営業所 〒462-0847 名古屋市北区金城3-11-27 名北ビル  
TEL(052)915-2650 FAX(052)915-7238  
福岡営業所 〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町11-11  
TEL(092)282-6801 FAX(092)282-6803  
本 社 〒213-0026 川崎市高津区久末1677  
TEL(044)751-7121 FAX(044)755-3212



NEEDLE AND IRON DETECTORS

スティックタイプ検針器・鉄片探知器

TY-20S

取扱説明書



**注 意**

- 取扱説明書をよく読み、正しく使用して下さい。
- 本書は、大切に保存し、常に参照して下さい。

株式会社 **サンコウ電子研究所**

平成7年6月改訂

## 使い方

- 《センサの接続》  
本体とセンサのコネクタを表紙写真の様に、接続します。（注：探知部は本体に内蔵されていません。必ずセンサを接続してください。）
- 《電源ON》  
本体横のスイッチを〔ON〕にします。この時、〈ピピー〉という音を確認してください。〈ピピピピピピ〉と鳴り続けた場合や音が全くしない場合は電池の交換が必要です（→電池の交換）。
- 《探知能力の確認》  
探知能力は、探知物までの距離と探知物の大きさに影響を受けます。探知したい大きさの針や鉄片を持ち、探知面の前にかざして動かし、探知可能な、材質・大きさ・距離であるかどうかを、あらかじめ確認してください。探知面はセンサ頭部の茶色の面です。  
〈材質〉探知可能な材質は、鉄に限られます。ステンレス製の針等は探知しないので、ご注意ください。  
〈大きさ〉鉄製の虫ピン（ $\phi 0.7 \times L 27 \text{ mm}$ ）の大きさで、探知面より・距離）約3 cm以内で探知可能です。  
探知物が小さくなれば、探知可能距離も減少します。
- 《探知》  
センサの茶色の面を検査したい物の上に軽く押し当てるようにしながら、前後または左右に動かしてください。針、鉄片などを探知すると〈ピー、ピー〉と音がして、ランプが点滅します。一般的に探知スピードが速いと、探知感度が高くなります。  
検査終了後は、必ずスイッチを〔OFF〕にしてください。
- 《電池の交換》  
本体横の電源スイッチを〔ON〕にした時、〈ピピー〉という音がしない場合や〈ピピピピピピ〉と鳴り続けた場合は、電池の交換が必要です。  
本体裏面の電池室のフタを矢印方向にスライドさせてあげ、電池を2本とも新しいものと交換してください。また、異種、新旧の電池は混用しないでください。

## 注意

- 本器は鉄製の針などの探知、検査作業の簡易化、能率化を支援するものです。
- 検査を始める前に、使い方(1)、(2)の電池の確認と探知能力の確認は、必ず行ってください。
- 検査は、検査物の回りに鉄（スチールデスク、ハサミ、ハンガーなど）がない所で行ってください。又、腕時計、磁気カードなどは近づけないでください。
- 真ちゅう、アルミなど、鉄以外の金属製の付属部品でも大きさ、メッキ方法などによっては探知する場合があります。“検針器対策用”（NC商品）の付属部品については、各部品メーカーにおたずねください。
- 探知動作は、なめらかに行ってください。強く振る様に動かすと、誤動作します。

